

# 配合変化表

2022年10月 作成

ニューキノロン系注射用抗菌製剤

レボフロキサシン点滴静注バッグ500mg 「KCC」

〈日本薬局方 レボフロキサシン注射液〉

ネオクリティケア製薬株式会社

ニューキノロン系注射用抗菌製剤  
**レボフロキサシン点滴静注バッグ500mg「KCC」**  
〈日本薬局方 レボフロキサシン注射液〉

## 【組成・性状】

### 1. 組成

本剤は1バッグ（100mL）中に次の成分を含有。

有効成分	日局 レボフロキサシン水和物 （レボフロキサシンとして）	512.5mg/100mL 500mg/100mL
添加物	塩化ナトリウム	900mg
	pH調節剤（塩酸、水酸化ナトリウム）	適量

### 2. 性状

本剤は黄色～帯緑黄色澄明の液で、pH及び浸透圧比は次のとおりである。

pH	3.8～5.8
浸透圧比 （生理食塩液に対する比）	1.0～1.2

## 【 pH 変動試験 】

### 1. 試験目的

レボフロキサシン点滴静注バッグ500mg「KCC」について、pH変動試験を実施し、本品の酸またはアルカリ添加による配合変化を予知するための参考資料とする。

### 2. 試験内容

#### (1) 試料溶液

レボフロキサシン点滴静注バッグ500mg「KCC」  
容量：100mL  
ロット番号：17P01

#### (2) 試験項目

試料溶液に0.1mol/L塩酸及び0.1mol/L水酸化ナトリウム試液を滴下したときの変化点pH又は最終pH

#### (3) 試験方法

試料溶液20mLに対して、0.1mol/L塩酸又は0.1mol/L水酸化ナトリウム試液をビュレットで滴下し、外観の観察及びpHの測定を行った。  
外観変化のあるpHを変化点pHとし、外観変化の無い場合は試液の20mL添加時のpHを最終pHとした。さらに、変化点pH又は最終pHに到達した直後及び24時間後のレボフロキサシンの量(mg)を測定し、本品のレボフロキサシンの量(mg)を100%とした時の相対値(%)を求めた。

### 3. 試験結果

#### 1) 外観、pH

規格pH	試料pH	試液添加量	変化点pH 又は最終pH	移動指数	外観
3.8～5.8	4.92	0.1mol/L HCl 20mL	最終pH：1.48	3.44	変化なし
		0.1mol/L NaOH 6.60mL	変化点pH：11.61	6.69	変化あり (無色澄明)

#### 2) 定量法

レボフロキサシン点滴静注バッグ(%)	試液添加量	変化点pH又は最終pH到達時の相対値(%) <sup>※1</sup>	変化点pH又は最終pH到達より24時間後の相対値(%) <sup>※1</sup>
100	0.1mol/L HCl 20mL	98.98	98.95
	0.1mol/L NaOH 6.60mL	98.70	98.57

※1 相対値：本品のレボフロキサシン含量を100%とした。

(変化点pH又は最終pHにおけるレボフロキサシンの量は、添加した液量で補正を行い算出した)

## 【 配合変化試験 】

### 1. 検体

本剤1袋（100mL）を検体とした。

### 2. 試験項目

(1) 外観

(2) pH

(3) レボフロキサシンの残存率（定量法）

※大きな外観変化が起きた薬剤については、残存率を試験しない。

### 3. 試験方法

検体10mLに対し別紙1のとおり調整した単剤10mLを加え、攪拌し配合薬液とした。

### 4. 試験結果

上記試験に基づいて、別紙2の配合変化表を作成した。

別紙1：レボフロキサシン点滴静注バッグ500mg「KCC」配合変化試験  
配合薬剤及び単剤調製方法

薬効分類	配合薬剤 (製造販売元) <sup>※1</sup>	容量	単剤 調製方法
全身麻酔剤	イソゾール注射用0.5g (日医工)	—	配合薬剤1本に添付の溶解液1本を加えて溶解し、単剤とした。
	ラボナール注射用0.5g (ニプロES)	—	配合薬剤1本に添付の溶解液1本を加えて溶解し <sup>※2</sup> 、単剤とした。
催眠鎮静剤、 抗不安剤	ドルミカム注射液10mg (アステラス)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
抗てんかん剤	プレセデックス静注液200 $\mu$ g「ファイザー」 (ファイザー)	2mL	配合薬剤1本(2mL)を量りとり、生理食塩液48mLを加えて混合し、単剤とした。
精神神経用剤	アダラックス-P 注射液(50mg/mL) (ファイザー)	1mL	配合薬剤1本を、生理食塩液100 mL <sup>※3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	セレネース注5mg (大日本住友)	1mL	配合薬剤を単剤とした。
鎮けい剤	ブスコパン注20mg (サノフィ)	1mL	配合薬剤を単剤とした。
強心剤	イノバン注200mg (協和発酵キリン) <sup>※4</sup>	10mL	配合薬剤を単剤とした。
	カタボンHi 注600mg (武田テバ薬品)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	カタボンLow 注200mg (武田テバ薬品)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	コアテック注5mg (エーザイ)	5mL	配合薬剤を単剤とした。
	ジギラノゲン注0.4mg (共和クリティケア)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
	ジゴシン注0.25mg (太陽ファルマ)	1mL	配合薬剤を単剤とした。
	ドブトレックス注射液100mg (塩野義)	5mL	配合薬剤1本(5mL)を、生理食塩液100 mL <sup>※3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	ネオフィリン注250mg (エーザイ)	10mL	配合薬剤1本(10mL)を、生理食塩液100 mL <sup>※3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
不整脈用剤	アンカロン注150 (サノフィ)	3mL	5%ブドウ糖注射液 100 mLボトル <sup>※5</sup> から薬液を20 mL抜き取り80 mLとした。この液80 mLに、配合薬剤2 mLを加えて混合し、単剤とした。
	オリベス点滴用1% (高田)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	静注用キシロカイン2% (アスベン)	5mL	配合薬剤を単剤とした。
	サンリズム注射液50 (第一三共)	5mL	配合薬剤を単剤とした。
	メキシチール点滴静注125mg (日本ベーリンガー)	5mL	配合薬剤1本(5 mL)を量りとり、生理食塩液20 mLを加えて混合し、単剤とした。
利尿剤	ソルダクトン静注用200mg (ファイザー)	—	配合薬剤1本に、注射用水3 mLを加えて溶解した。この液全量を量りとり、注射用水17 mLに加えて混合し、単剤とした。
	ラシックス注100mg (サノフィ)	10mL	配合薬剤を単剤とした。
血圧降下剤	ペルジピン注射液10mg (アステラス)	10mL	配合薬剤1本を量りとり、生理食塩液50 mLを加えて混合し、単剤とした。
血管拡張剤	ニトロール点滴静注100mgバッグ (エーザイ)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	ハンブ注射用1000 (第一三共)	—	配合薬剤2本それぞれに注射用水10 mLを加えて溶解した。これらを混合し、単剤とした。
	ペルサンチン静注10mg (日本ベーリンガー)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
	ヘルベッサー注射用250 (田辺三菱)	—	配合薬剤3本にそれぞれ生理食塩液5 mLを加えて溶解した。これらを混合し、単剤とした。

※1：製造販売元は2018.04時点の保険薬辞典（じほう発行）に準拠した。

※2：数回吸引排出して均一に溶解した。

※3：大塚生食注100mLプラボトルに加えた。

※4：2018.04時点で販売中止になっている。

※5：大塚糖液5% 100mLプラボトルを用いた。

薬効分類	配合薬剤 (製造販売元) <sup>※1</sup>	容量	単剤 調製方法
呼吸促進剤	ドブラム注射液400mg (キッセイ)	20mL	配合薬剤を単剤とした。
去たん剤	ピソルボン注4mg (サノフィ)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
消化性 潰瘍用剤	オメプラール注用20 (アストラゼネカ)	—	配合薬剤1本に、生理食塩液5 mLを加えて溶解した。 この液全量を量りとり、生理食塩液15 mLを加えて混合し、単剤とした。
	ガスター注射液20mg (アステラス)	2mL	配合薬剤1本(2mL)を量りとり、生理食塩液20 mLを加えて混合し、単剤とした。
	ザンタック注射液100mg (GSK)	4mL	配合薬剤1本(4mL)を量りとり、生理食塩液40 mLを加えて混合し、単剤とした。
	タガメット注射液200mg (大日本住友)	2mL	配合薬剤1本(2mL)を量りとり、生理食塩液20 mLを加えて混合し、単剤とした。
	タケブロン静注用30mg (武田)	—	配合薬剤1本に、生理食塩液5 mLを加えて溶解した。 この液全量を量りとり、生理食塩液15 mLを加えて混合し、単剤とした。
その他の 消化器官用薬	プリンペラン注射液10mg (アステラス)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
副腎 ホルモン剤	ソル・コーテフ静注用1000mg (ファイザー)	—	配合薬剤2本を用いた。それぞれバイアル上部の溶解液8 mLに溶解し、 これらを混合して単剤とした。
	ソル・メドロール静注用1000mg (ファイザー)	—	配合薬剤1本に、添付の溶解液16 mLを加えて溶解し、単剤とした。
	ノルアドリナリン注1mg (第一三共)	1mL	配合薬剤1本(1mL)を、生理食塩液250 mL <sup>※2</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	水溶性プレドニン50mg (塩野義)	—	配合薬剤3本を用いた。各配合薬剤に、 注射用水5 mLを加えて溶解し、これらを混合して単剤とした。
	ボスミン注1mg (第一三共)	1mL	配合薬剤3本(3mL)を量りとり、生理食塩液12mLを加えて混合し、単剤とした。
	リンデロン注100mg(2%) (塩野義)	5mL	配合薬剤を単剤とした。
その他の ホルモン剤 (抗ホルモン 剤を含む。)	ヒューマリンR注100単位/mL (リリー)	10mL	配合薬剤を単剤とした。
その他の 個々の 器官系用 医薬品	セファランチン注10mg (化研生薬)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
ビタミン B <sub>1</sub> 剤	アリナミンF100 注 (武田テバ薬品)	20mL	配合薬剤を単剤とした。
	メタボリンG注射液20mg (武田テバ薬品)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
ビタミン B剤(ビタミン B <sub>1</sub> 剤を除く)	ビスラーゼ注射液20mg (トーアエイコー)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
ビタミン C剤	ビタシミン注射液500mg (武田テバ薬品)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
ビタミン K剤	ケイツー-N静注10mg (エーザイ)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混 合製剤を除く。)	ネオラミン・マルチV注射用 (日本化薬)	—	高カロリー経静脈栄養輸液 <sup>※3</sup> より、液を5 mL量りとり、配合薬剤1本に加え 溶解した。溶解後、この液全量を量りとり、前述の高カロリー経静脈栄養輸 液 <sup>※3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	ビタメジン静注用 (第一三共)	—	配合薬剤1本に、注射用水10 mLを加えて溶解した。 溶解後全量を量りとり、注射用水10 mLを加え、単剤とした。
カルシウム剤	カルチコール注射液8.5%5mL (日医工)	5mL	配合薬剤を単剤とした。
無機質製剤	アスパラカリウム注10mEq (ニプロES)	10mL	配合薬剤1本(10mL)に注射用水を加えて、250 mLとし、単剤とした。
	エレメンミック注 (エイワイファーマ)	2mL	配合薬剤1本(2mL)を量りとり、高カロリー静脈栄養輸液 <sup>※4</sup> に加えて混合し、 単剤とした。
糖類剤	大塚糖液5% (大塚工場)	100mL	配合薬剤を単剤とした。

※1：製造販売元は2018.04時点の保険薬辞典（じほう発行）に準拠した。

※2：大塚生食注250mLプラボトルに加えた。

※3：フルカリック2号輸液1003mLを用いた。

※4：ピーエヌツイン2号輸液1100 mLを用いた。

薬効分類	配合薬剤 (製造販売元) <sup>※1</sup>	容量	単剤 調製方法
糖類剤	キリット注5% (大塚工場)	300mL	配合薬剤を単剤とした。
	マンニトールS注射液 (陽進堂)	500mL	配合薬剤を単剤とした。
たん白 アミノ酸製剤	アミノフリード輸液 (大塚工場)	1000mL	隔壁を開通して上室液と下室液をよく混合し、配合薬剤を単剤とした。
	ピーエヌツイン-1号輸液 (エイワイファーマ)	1000mL	配合薬剤を単剤とした。
	ピーエヌツイン-2号輸液 (エイワイファーマ)	1100mL	配合薬剤を単剤とした。
	ピーエヌツイン-3号輸液 (エイワイファーマ)	1200mL	配合薬剤を単剤とした。
	フルカリック1号輸液 (テルモ)	903mL	配合薬剤を単剤とした。
	フルカリック2号輸液 (テルモ)	1003mL	配合薬剤を単剤とした。
	フルカリック3号輸液 (テルモ)	1103mL	配合薬剤を単剤とした。
その他の 滋養強壯薬	イントラリポス輸液20% (大塚工場)	250mL	配合薬剤を単剤とした。
血液代用剤	KN1号輸液 (大塚工場)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	KN3号輸液 (大塚工場)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	大塚生食注250mLプラボトル (大塚工場)	250mL	配合薬剤を単剤とした。
	ソリター-T1号輸液 (エイワイファーマ)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	ソリター-T2号輸液 (エイワイファーマ)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	ソリター-T3号輸液 (エイワイファーマ)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	ソリター-T4号輸液 (エイワイファーマ)	200mL	配合薬剤を単剤とした。
	フィジオ140輸液 (大塚工場)	500mL	配合薬剤を単剤とした。
	フィジオ35輸液 (大塚工場)	500mL	配合薬剤を単剤とした。
	フィジオゾール3号輸液 (大塚工場)	500mL	配合薬剤を単剤とした。
	ポタコールR輸液 (大塚工場)	250mL	配合薬剤を単剤とした。
	ラクテックD輸液 (大塚工場)	500mL	配合薬剤を単剤とした。
	ラクテックG輸液 (大塚工場)	250mL	配合薬剤を単剤とした。
	ラクテック注 (大塚工場)	250mL	配合薬剤を単剤とした。
	リングル液「オーツカ」 (大塚工場)	500mL	配合薬剤を単剤とした。
血液凝固 阻止剤	フラグミン静注5000単位/5mL (ファイザー)	5mL	配合薬剤を単剤とした。
	ヘパリンNa注1万単位/10mL「モチダ」 (持田)	10mL	配合薬剤を単剤とした。

※1：製造販売元は2018.04時点の保険薬辞典（じほう発行）に準拠した。

薬効分類	配合薬剤 (製造販売元) <sup>*1</sup>	容量	単剤 調製方法
血液凝固 阻止剤	ヘパリンNaロック用100単位/mL シリンジ「オーツカ」10mL (大塚工場)	10mL	配合薬剤を単剤とした。
解毒剤	ロイコボリン注3mg (ファイザー)	1mL	配合薬剤を単剤とした。
他に分類され ない代謝性医 薬品	注射用エラスボール100 (小野)	—	生理食塩液250 mLボトル <sup>*2</sup> より、液を10mL量りとり、配合薬剤1本に加え溶解した。溶解後、この液全量を量りとり、前述の生理食塩液250 mLボトル <sup>*2</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	プログラフ注射液5mg (アステラス)	1mL	配合薬剤1本(1 mL)を、生理食塩液100 mL <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
アルキル 化剤	注射用エンドキサン500mg (塩野義)	—	配合薬剤1本に、生理食塩液25 mLを加えて溶解し、単剤とした。
その他の 腫瘍用薬	シスプラチン点滴静注10mg「マルコ」 (日医工ファーマ)	20mL	配合薬剤1本(20 mL)を、生理食塩液100 mL <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
主としてグラム 陽性菌に 作用するもの	注射用タゴシッド200mg (サノフィ)	—	配合薬剤1本に生理食塩液5 mLを加えて穏やかに溶解した <sup>*4</sup> 。溶解後、この液5 mLを量りとり、生理食塩液100 mLに加えて <sup>*3</sup> 混合し、単剤とした。
	ダラシンS注射液600mg (ファイザー)	4mL	配合薬剤1本(4 mL)を、生理食塩液100 mL <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	ハベカシン注射液200mg (MeijiSeika)	4mL	配合薬剤1本(4 mL)を、生理食塩液100 mL <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	バンコマイシン塩酸塩 点滴静注用0.5g「ファイザー」 (マイラン)	—	配合薬剤1本に注射用水10 mLを加え溶解した。 この液全量を量りとり、生理食塩液100 mL <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	リンコシン注射液1.5g (ファイザー)	5mL	配合薬剤1本(5 mL)を、生理食塩液250 mL <sup>*2</sup> に加えて混合し、単剤とした。
主としてグラム 陰性菌に 作用するもの	アザクタム注射用1g (エーザイ)	—	配合薬剤1本に、注射用水5 mLを加えて溶解した。 この液全量を量りとり、注射用水15mLを加えて溶解し、単剤とした。
	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」 (日医工)	—	注射用水100mLボトル <sup>*5</sup> より、液を10mL量りとり、配合薬剤1本に加え溶解した。溶解後、この液全量を量りとり、前述の注射用水100 mLボトル <sup>*5</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	エクサシン注射液400 (旭化成ファーマ)	2mL	配合薬剤1本(2mL)を、生理食塩液100 mL <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
主としてグラム 陽性・陰性 菌に作用するもの	オメガシン点滴用0.3g (MeijiSeika)	—	生理食塩液100 mLボトル <sup>*3</sup> より、液を10mL量りとり、配合薬剤1本に加えた。この液全量を量りとり、先の生理食塩液100 mLボトル <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	カルベニン点滴用0.5g (第一三共)	—	生理食塩液100mLボトル <sup>*3</sup> より、液を10mL量りとり、配合薬剤1本に加え溶解した。溶解後、この液全量を量りとり、前述の生理食塩液100mLボトル <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	ゲンタシン注60 (高田)	1.5mL	配合薬剤1本(1.5mL)を、生理食塩液100mLボトル <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
	シオマリン静注用1g (塩野義)	—	配合薬剤2本を用いた。各配合薬剤に、注射用水10 mLを加えて溶解し、これらを混合して単剤とした。
	スルペラゾン静注用1g (ファイザー)	—	配合薬剤2本それぞれに注射用水5 mLを加えて、溶解する。 この液全量を量りとり、注射用水10 mLを加えて混合し、単剤とする。
	セファメジンα注射用2g (LTL)	—	配合薬剤2本を用いた。各配合薬剤に、注射用水5 mLずつを加え溶解した。溶解後、全量を量りとり、注射用水10 mLを加えて混合し、単剤とした。
	セフメタゾン静注用2g (第一三共)	—	配合薬剤1本に、注射用水10mLを加え溶解した。 溶解後、全量を量りとり、注射用水10mLを加えて混合し、単剤とした。
	チエナム点滴静注用キット 0.5g (MSD)	—	配合薬剤の溶解液部分を手で押して隔壁を開通させ、この操作を2～3回繰り返して薬剤を溶解し、単剤とした。
	パニマイシン注射液100mg (MeijiSeika)	2mL	配合薬剤1本(2mL)を量りとり、生理食塩液100mLボトル <sup>*3</sup> に加え混合し単剤とした。
	パンスボリン静注用1g (武田テバ薬品)	—	配合薬剤1本に、注射用水20 mLを加え溶解し、単剤とした。
	ビクシリン注射用2g (MeijiSeika)	—	配合薬剤1本に、生理食塩液5 mLを加え溶解した。 溶解後、全量を量りとり、生理食塩液15 mLを加えて混合し、単剤とした。
	ファーストシン静注用1gバッグG (武田テバ薬品)	—	配合薬剤の溶解液部分を手で押して隔壁を開通させ、 この操作を2～3回繰り返して薬剤を溶解し、単剤とした。
	フィニバック点滴静注用0.25g (塩野義)	—	生理食塩液100mLボトル <sup>*3</sup> より、液を10mL量りとり、配合薬剤1本に加え溶解した。溶解後、この液全量を量りとり、先の生理食塩液100mLボトル <sup>*3</sup> に加えて混合し、単剤とした。

※1：製造販売元は2018.04時点の保険薬辞典（じほう発行）に準拠した。

※2：大塚生食注250mLプラボトルに加えた。

※3：大塚生食注100mLプラボトルを用いた。

※4：泡立ちやすく泡が消えにくいので、強く振り混ぜないこと。

※5：大塚蒸留水100mLを用いた。



薬効分類	配合薬剤 (製造販売元) <sup>※1</sup>	容量	単剤 調製方法
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	フルマリン静注用1g (塩野義)	—	配合薬剤2本を用いた。各配合薬剤に、注射用水10 mLずつを加えて溶解し、これらを混合して単剤とした。
	ペントシリン注射用2g (富山化学)	—	配合薬剤2本を用いた。各配合薬剤に、注射用水10mLずつを加えて溶解し、これらを混合して単剤とした。
	ホスミンS静注用2g (MeijiSeika)	—	配合薬剤1本に、注射用水20 mLを加えて溶解し、単剤とした。
	注射用マキシビーム1g (BMS)	—	配合薬剤1本に、注射用水10 mLを加え溶解した。 溶解後、全量を量りとり、注射用水10 mLを加えて混合し、単剤とした。
	メイセリン静注用1g (MeijiSeika)	—	配合薬剤1本に、注射用水20 mLを加えて溶解し、単剤とした。
	メロペン点滴用キット0.5g (大日本住友)	—	配合薬剤の溶解液部分を手で押して隔壁を開通させ、この操作を2～3回繰り返して薬剤を溶解し、単剤とした。
	モダシン静注用1g (GSK)	—	配合薬剤1本に、注射用水5 mLを加え溶解した。 溶解後、全量を量りとり、注射用水15 mLを加えて混合し、単剤とした。
	ユナシン-S静注用1.5g (ファイザー)	—	配合薬剤2本を用いた。各配合薬剤に、注射用水10 mLずつを加えて溶解し、これらを混合して単剤とした。
	ロセフィン点滴静注用1gバッグ (太陽ファルマ)	—	配合薬剤の溶解液部分を手で押して隔壁を開通させ、この操作を2～3回繰り返して薬剤を溶解し、単剤とした。
主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	エリスロシン点滴静注用500mg (マイランEPD)	—	生理食塩液 100 mLボトル <sup>※2</sup> から薬液を10 mL抜き取り90 mLとした。 配合薬剤1本に、注射用水10mLを加え溶解する。 溶解後、全量を量りとり、生理食塩液90 mLに加えて混合し、単剤とした。
	ジスロマック点滴静注用500mg (ファイザー)	—	配合薬剤1本に注射用水4.8 mLを加えて溶解した。 この液1 mLを量りとり、5%ブドウ糖注射液100 mL <sup>※3</sup> に加えて単剤とした。
主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチア、グラムミジアに作用するもの	ミノマイシン点滴静注用100mg (ファイザー)	—	5%ブドウ糖注射液100 mLボトル <sup>※3</sup> より、液を適量抜き取り、配合薬剤1本に加え溶解した。溶解後、この液全量を量りとり、先の5%ブドウ糖注射液100 mLボトル <sup>※3</sup> に加えて混合し、単剤とした。
主としてカビに作用するもの	ファンガード点滴用75mg (アステラス)	—	生理食塩液(100 mLボトル)より、液を適量抜き取り、配合薬剤(1本)に加え穏やかに溶解した <sup>※4</sup> 。溶解後、全量を量りとり、生理食塩液(前述の100 mLボトル)に加えて混合し、単剤とした。
	ファンギゾン注射用50mg (BMS)	—	配合薬剤1本に、注射用水10 mLを加えて溶解した(液が透明になるまでゆっくりと振とうした)。溶解後、この液10 mLを量りとり、5%ブドウ糖注射液500 mLに加えて混合し、単剤とした。
	ブイフェンド200mg静注用 (ファイザー)	—	配合薬剤1本に、注射用水19mLを加え溶解した。 溶解後、全量を量りとり、生理食塩液21 mLを加えて混合し、単剤とした。
抗結核剤	イスコチン注100mg (第一三共)	2mL	配合薬剤を単剤とした。
合成抗菌剤	ザイボックス注射液600mg (ファイザー)	300mL	配合薬剤を単剤とする。
抗ウイルス剤	ゾピラックス点滴静注用250 (GSK)	—	生理食塩液 100 mLボトル <sup>※2</sup> より、液を10mL量りとり、配合薬剤1本に加え溶解した。溶解後、この液全量を量りとり、前述の生理食塩液 100 mLボトル <sup>※2</sup> に加えて混合し、単剤とした。
その他の化学療法剤	ジフルカン静注液200mg (ファイザー)	100mL	配合薬剤を単剤とする。
	プロジフ静注液400 (ファイザー)	5mL	配合薬剤を単剤とする。
	フロリードF注200mg (持田)	20mL	配合薬剤1本(20mL)を量りとり、生理食塩液30mLを加え混合し、単剤とした。
血液製剤類	献血ヴェノグロブリン1H5%静注1g/20mL (日本血液製剤機構)	20mL	配合薬剤を単剤とした。
抗原虫剤	アネマトロ点滴静注液500mg (ファイザー)	100mL	配合薬剤を単剤とした。

※1：製造販売元は2018.04時点の保険薬辞典（じほう発行）に準拠した。

※2：大塚生食注100mLプラボトルを用いた。

※3：大塚糖液5% 100mLプラボトルを用いた。

※4：泡立ちやすく泡が消えにくいので、強く振り混ぜないこと。

別紙2：レボフロキサシン点滴静注バッグ500mg「KCC」配合変化試験結果

薬効分類	配合薬剤 (製造販売元)*1	項目	レボフロキサ シン配合前	保存時間				24時間後 残存率(%)
				配合直後	1時間後	3時間後	24時間後	
全身麻酔剤	イソゾール注射用0.5g (日医工)	外観	淡黄色澄明の液体	淡黄色白濁の液体	淡黄色澄明の液体と白色沈殿	微黄色澄明の液体と白色沈殿	無色澄明の液体と白色沈殿	/
		pH	10.9	8.9	9.5	9.7	10.0	
	ラボナール注射用0.5g (ニプロES)	外観	淡黄色澄明の液体	微黄色白濁の液体	微黄色微濁の液体と白色沈殿	変化なし	白濁の液体と白色沈殿	
		pH	10.8	9.7	9.8	9.8	9.9	
催眠鎮静剤, 抗不安剤	ドルミカム注射液10mg (アステラス)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.1
		pH	3.4	3.6	3.5	3.6	3.6	
抗てんかん剤	プレセデックス静注液 200μg「ファイザー」 (ファイザー)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.3
		pH	5.9	4.8	4.9	4.9	4.9	
精神神経用剤	アダラックスP注射液 (50mg/mL) (ファイザー)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.0
		pH	4.9	4.8	4.8	5.0	4.9	
	セレネース注5mg (大日本住友)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.1
		pH	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	
鎮けい剤	ブスコパン注20mg (サノフィ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.8
		pH	4.1	4.7	4.8	4.8	4.6	
強心剤	イノバン注200mg (協和発酵キリン)**2	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.4
		pH	4.6	4.8	4.8	4.9	4.7	
	カタボンHi注600mg (武田テバ薬品)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.9
		pH	3.8	4.6	4.6	4.8	4.7	
	カタボンLow注200mg (武田テバ薬品)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.9
		pH	3.9	4.6	4.6	4.7	4.8	
	コアテック注5mg (エーザイ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.8
		pH	4.1	4.2	4.3	4.2	4.2	
	ジギラノゲン注0.4mg (共和クリティケア)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.6
		pH	6.1	4.9	4.9	4.9	4.9	
	ジゴシン注0.25mg (太陽ファルマ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.9
		pH	6.4	5.1	5.1	5.1	5.1	
	ドブトレックス注射液100mg (塩野義)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.6
		pH	4.3	4.8	4.8	4.9	4.9	
ネオフィリン注250mg (エーザイ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.8	
	pH	8.9	6.8	6.8	6.8	6.9		
不整脈用剤	アンカロン注150 (サノフィ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	102.7
		pH	4.0	4.7	4.8	4.8	4.8	
	オリバス点滴用1% (高田)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.4
		pH	6.4	5.2	5.3	5.3	5.3	
	静注用キシロカイン2% (アスペン)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	97.2
		pH	6.5	5.6	5.6	5.6	5.5	
サンリズム注射液50 (第一三共)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.9	
	pH	6.1	4.8	4.8	4.8	4.8		
メキシチール 点滴静注125mg (日本ベーリンガー)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.0	
	pH	5.7	4.8	4.8	4.9	4.8		
利尿剤	ソルダクトン静注用200mg (ファイザー)	外観	微黄色澄明の液体	白濁の液体	白濁の液体と白色沈殿	変化なし	変化なし	/
		pH	9.5	7.9	8.0	8.0	8.0	
	ランックス注100mg (サノフィ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色白濁の液体	淡黄色微濁の液体と黄色沈殿	微黄色澄明の液体と白色針状結晶及び黄色沈殿	微黄色澄明の液体と白色針状結晶及び淡黄色沈殿	/
		pH	9.0	6.2	6.2	6.9	7.1	
血圧降下剤	ペルジピン注射液10mg (アステラス)	外観	微無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.9
		pH	4.4	4.8	4.8	4.9	4.8	
血管拡張剤	ニトロール点滴静注 100mgバッグ (エーザイ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.5
		pH	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7	
	ハンブ注射用1000 (第一三共)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.9
		pH	5.2	4.9	4.9	4.9	4.9	
	ペルサンチン静注10mg (日本ベーリンガー)	外観	黄色澄明の液体	黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.5
		pH	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
ヘルベッサー注射用250 (田辺三菱)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	103.1	
	pH	4.8	4.9	4.9	4.9	4.8		

薬効分類	配合薬剤 (製造販売元)*1	項目	レボフロキサ シン配合前	保存時間				24時間後 残存率(%)
				配合直後	1時間後	3時間後	24時間後	
呼吸促進剤	ドブラム注射液400mg (キッセイ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.1
		pH	3.9	4.5	4.5	4.5	4.5	
去たん剤	ビソルボン注4mg (サノファイ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.6
		pH	2.7	2.9	2.9	2.9	2.9	
消化性 潰瘍用剤	オメプラール注用20 (アストラゼネカ)	外観	無色澄明の液体	微黄色澄明の液体	帯紫灰色澄明の液体	灰色澄明の液体	淡褐色澄明の液体と黒色沈殿	/
		pH	9.9	5.7	5.7	5.8	5.8	
	ガスター注射液20mg (アステラス)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.5
		pH	6.0	5.3	5.4	5.4	5.3	
	ザンタック注射液100mg (GSK)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.8
		pH	6.9	5.5	5.5	5.6	5.5	
	タガメット注射液200mg (大日本住友)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.5
		pH	5.9	5.5	5.5	5.4	5.4	
	タケブロン静注用30mg (武田)	外観	無色澄明の液体	淡黄色微濁の液体	灰色微濁の液体	変化なし	淡灰色澄明の液体と黒色沈殿	/
		pH	10.4	6.2	6.2	6.2	6.2	
その他の 消化器官用薬	プリンペラン注射液10mg (アステラス)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.7
		pH	3.3	3.7	3.7	3.7	3.7	
副腎 ホルモン剤	ソル・コーテフ静注用1000mg (ファイザー)	外観	微黄色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.2
		pH	7.6	7.3	7.3	7.3	7.2	
	ソル・メドロール静注用 1000mg (ファイザー)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.7
		pH	7.6	7.2	7.2	7.2	7.2	
	ノルアドリナリン注1mg (第一三共)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.1
		pH	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	
	水性プレドニン50mg (塩野義)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.1
		pH	6.8	6.3	6.3	6.3	6.3	
	ボスミン注1mg (第一三共)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.1
		pH	3.7	4.5	4.6	4.5	4.5	
リンデロン注100mg(2%) (塩野義)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.1	
	pH	7.8	6.7	6.7	6.7	6.7		
その他の ホルモン剤 (抗ホルモン 剤を含む。)	ヒューマリンR注 100単位/mL (リリー)	外観	無色澄明の液体	白濁の液体	淡黄色澄明の液体 と白色沈殿	変化なし	変化なし	/
		pH	7.1	5.4	5.4	5.4	5.4	
その他の個々の 器官系用医薬品	セファランチン注10mg (化研生薬)	外観	淡黄色澄明の液体	帯赤淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.2
		pH	3.0	3.5	3.7	3.6	3.6	
ビタミン B <sub>1</sub> 剤	アリナミンF100 注 (武田テバ薬品)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.6
		pH	3.2	3.7	3.7	3.7	3.7	
	メタボリンG注射液20mg (武田テバ薬品)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.0
		pH	3.2	3.5	3.5	3.5	3.5	
ビタミン B剤(ビタミン B <sub>1</sub> 剤を除く)	ビスラーゼ注射液20mg (トーアエイヨー)	外観	橙色澄明の液体	橙黄色の濁った液体	黄色沈殿 (ゲル化)	変化なし	変化なし	/
		pH	5.7	5.4	5.6	5.5	5.5	
ビタミン C剤	ビタシミン注射液500mg (武田テバ薬品)	外観	微黄色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.8
		pH	6.7	6.4	6.5	6.5	6.5	
ビタミン K剤	ケイソーN静注10mg (エーザイ)	外観	黄色半透明の液体	黄色半透明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.8
		pH	7.6	5.3	5.3	5.3	5.3	
混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混 合製剤を除く。)	ネオラミン・マルチV注射用 (日本化薬)	外観	黄色澄明の液体	黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.3
		pH	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	
	ビタメジン静注用 (第一三共)	外観	赤色澄明の液体	赤色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.9
		pH	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	
カルシウム剤	カルチコール注射液 8.5%5mL (日医工)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.1
		pH	6.9	5.2	5.3	5.2	5.3	
無機質製剤	アスパラカルウム注10mEq (ニプロES)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.2
		pH	7.0	5.3	5.4	5.4	5.4	
	エレメンミック注 (エイワイファーマ)	外観	微黄赤色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	黄色澄明の液体	99.0
		pH	5.2	5.2	5.2	5.2	5.1	
糖類剤	大塚糖液5% (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.6
		pH	4.1	4.8	4.8	4.8	4.8	

薬効分類	配合薬剤 (製造販売元)※1	項目	レボフロキサ シン配合前	保存時間				24時間後 残存率(%)
				配合直後	1時間後	3時間後	24時間後	
糖類剤	キリット注5% (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	103.5
		pH	5.6	4.9	4.9	4.9	4.8	
	マンニトールS注射液 (陽進堂)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.1
		pH	5.8	4.8	4.8	4.8	4.8	
たん白 アミノ酸製剤	アミノフリード輸液 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.9
		pH	6.7	6.2	6.2	6.2	6.1	
	ピーエヌツイン-1号輸液 (エイワイファーマ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.6
		pH	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
	ピーエヌツイン-2号輸液 (エイワイファーマ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.6
		pH	5.2	5.1	5.2	5.2	5.1	
	ピーエヌツイン-3号輸液 (エイワイファーマ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.3
		pH	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	
	フルカリク1号輸液 (テルモ)	外観	黄色澄明の液体	黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.4
		pH	5.1	5.0	5.0	5.0	5.0	
	フルカリク2号輸液 (テルモ)	外観	黄色澄明の液体	黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.2
		pH	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	
フルカリク3号輸液 (テルモ)	外観	黄色澄明の液体	黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.3	
	pH	5.5	5.4	5.4	5.4	5.4		
その他の 滋養強壯薬	イントラリポス輸液20% (大塚工場)	外観	白色乳濁の液体	白色乳濁の液	変化なし	変化なし	変化なし	100.5
		pH	7.4	5.0	5.0	5.0	5.0	
血液代用剤	KN1号輸液 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.7
		pH	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	
	KN3号輸液 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.5
		pH	5.6	5.2	5.2	5.2	5.2	
	大塚生食注250mL ブラボトル (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.9
		pH	5.8	4.9	5.0	5.0	4.8	
	ソリター-T1号輸液 (エイワイファーマ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.6
		pH	5.6	5.2	5.2	5.2	5.1	
	ソリター-T2号輸液 (エイワイファーマ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.5
		pH	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	
	ソリター-T3号輸液 (エイワイファーマ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.1
		pH	5.5	5.1	5.1	5.2	5.1	
	ソリター-T4号輸液 (エイワイファーマ)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.7
		pH	5.5	5.0	5.0	5.0	5.0	
	フィジオ140輸液 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.8
		pH	6.0	5.5	5.5	5.5	5.5	
	フィジオ35輸液 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.3
		pH	5.1	5.0	5.0	5.1	5.0	
	フィジオゾール3号輸液 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.8
		pH	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	
ポタコールR輸液 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.4	
	pH	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9		
ラクテックD輸液 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.4	
	pH	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9		
ラクテックG輸液 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.1	
	pH	6.4	5.2	5.2	5.2	5.2		
ラクテック注 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.3	
	pH	6.5	5.2	5.2	5.2	5.2		
リングル液「オーツカ」 (大塚工場)	外観	無色澄明の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.7	
	pH	6.6	4.8	4.8	4.8	4.8		
血液凝固 阻止剤	フラグミン静注 5000単位/5mL (ファイザー)	外観	無色澄明の液体	白濁の液体	白色微濁の液体と 白色沈殿	変化なし	変化なし	/
		pH	6.3	5.5	5.5	5.5	5.6	
	ヘパリンNa注 1万単位/10mL「モチダ」 (持田)	外観	無色澄明の液体	白濁の液体	変化なし	変化なし	白濁の液体と 白色沈殿	
		pH	6.6	5.5	5.5	5.5	5.6	

薬効分類	配合薬剤 (製造販売元) <sup>※1</sup>	項目	レボフロキサ シン配合前	保存時間				24時間後 残存率(%)
				配合直後	1時間後	3時間後	24時間後	
血液凝固 阻止剤	ヘパリンNaロック用 100単位/mL シリンジ「オーツカ」10mL (大塚工場)	外観	無色澄明の 液体	微黄色白濁の液体	微黄色微濁の液体 と白色沈殿	変化なし	微黄色澄明の液体 と白色沈殿	/
		pH	6.8	5.3	5.3	5.3	5.3	
解毒剤	ロイコボリン注3mg (ファイザー)	外観	黄色澄明の 液体	黄色澄明の 液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.8
		pH	7.6	5.6	5.6	5.6	5.6	
他に分類され ない代謝性医 薬品	注射用エラスポール100 (小野)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.6
		pH	7.3	5.1	5.1	5.1	5.1	
	プログラフ注射液5mg (アステラス)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.6
		pH	5.6	4.8	4.8	4.8	4.8	
アルキル 化剤	注射用エンドキサシ500mg (塩野義)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.0
		pH	5.6	4.8	4.8	4.8	4.2	
その他の 腫瘍用薬	シスプラチン点滴静注 10mg「マルコ」 (日医工ファーマ)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.8
		pH	4.9	4.8	4.9	4.8	4.8	
主としてグラ ム陽性菌に 作用するも の	注射用タゴシッド200mg (サノフィ)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色白濁の液体	変化なし	淡黄色白濁の液体 と白色沈殿	淡黄色澄明の液体 と白色沈殿	/
		pH	7.4	5.2	5.2	5.2	5.2	
	ダラシンス注射液600mg (ファイザー)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.1
		pH	6.5	5.9	5.9	5.9	6.0	
	ハベカシン注射液200mg (MeijiSeika)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.3
		pH	6.9	5.7	5.7	5.7	5.6	
バンコマイシン塩酸塩点滴 静注用0.5g「ファイザー」 (マイラン)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.4	
	pH	3.9	4.4	4.4	4.4	4.4		
リンコシン注射液1.5g (ファイザー)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.5	
	pH	5.0	4.8	4.8	4.8	4.8		
主としてグラ ム陰性菌に 作用するも の	アザクタム注射用1g (エーザイ)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.0
		pH	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	
	アミカシン硫酸塩注射用 200mg「日医工」 (日医工)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.9
pH		6.2	5.1	5.1	5.1	5.1		
エクサシン注射液400 (旭化成ファーマ)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.2	
	pH	6.4	5.3	5.3	5.3	5.3		
オメガシン点滴用0.3g (MeijiSeika)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.8	
	pH	5.2	4.8	4.8	4.9	4.8		
カルベニン点滴用0.5g (第一三共)	外観	微黄色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	黄褐色澄明の液体	100.3	
	pH	6.5	5.5	5.5	5.5	5.4		
ゲンタシン注60 (高田)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.4	
	pH	5.0	4.9	4.8	4.8	4.8		
シオマリン静注用1g (塩野義)	外観	淡黄色澄明の 液体	黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.4	
	pH	6.0	5.6	5.7	5.8	5.9		
スルペラゾン静注用1g (ファイザー)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色白濁の液体	変化なし	変化なし	淡黄色澄明の液体 と淡黄色沈殿	/	
	pH	5.2	5.1	5.1	5.1	5.0		
セファメジンα注射用2g (LTL)	外観	淡黄褐色澄明 の液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	102.8	
	pH	5.6	5.3	5.3	5.4	5.6		
セフメタゾン静注用2g (第一三共)	外観	微黄色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.9	
	pH	5.0	4.9	4.8	4.8	4.4		
チエナム点滴静注用 キット0.5g (MSD)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.3	
	pH	7.3	5.7	5.7	5.7	5.5		
パニマイシン注射液100mg (MeijiSeika)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.5	
	pH	6.7	5.6	5.5	5.6	5.6		
パンスボリン静注用1g (武田テバ薬品)	外観	黄色澄明の 液体	黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.2	
	pH	6.4	6.3	6.4	6.4	6.4		
ピクシリン注射用2g (MeijiSeika)	外観	無色澄明の 液体	微黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.4	
	pH	8.8	8.4	8.4	8.4	8.2		
ファーストシン静注用 1gバッグG (武田テバ薬品)	外観	淡黄色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.1	
	pH	8.3	6.3	6.3	6.5	6.8		
フィニバックス 点滴静注用0.25g (塩野義)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.4	
	pH	5.4	4.9	4.9	4.9	4.8		

薬効分類	配合薬剤 (製造販売元)*1	項目	レボフロキサ シン配合前	保存時間				24時間後 残存率(%)
				配合直後	1時間後	3時間後	24時間後	
主としてグラム 陽性・陰性 菌に作用す るもの	フルマリン静注用1g (塩野義)	外観	微黄色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.6
		pH	5.0	4.9	5.0	5.1	5.4	
	ペントシリン注射用2g (富山化学)	外観	微黄色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.7
		pH	5.7	5.4	5.4	5.4	5.2	
	ホスミンS静注用2g (MeijiSeika)	外観	無色澄明の 液体	微黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.9
		pH	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	
	注射用マキシベーム1g (BMS)	外観	黄色澄明の 液体	黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.1
		pH	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
	メイセリン静注用1g (MeijiSeika)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	黄色澄明の液体	100.7
		pH	5.4	5.1	5.0	4.9	4.5	
	メロペン点滴用キット0.5g (大日本住友)	外観	無色澄明の 液体	微黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.9
		pH	7.9	6.8	6.9	7.0	7.0	
モダシン静注用1g (GSK)	外観	淡黄色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.9	
	pH	6.9	6.5	6.7	6.8	6.8		
ユナシン-S静注用1.5g (ファイザー)	外観	微黄色澄明の 液体	微黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.9	
	pH	8.8	8.4	8.5	8.4	8.2		
ロセフィン点滴静注用 1gバッグ (太陽ファルマ)	外観	微黄色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.1	
	pH	6.5	5.5	5.5	5.4	5.5		
主としてグラム 陽性菌、マイコ プラズマに作 用するもの	エリスロニン 点滴静注用500mg (マイランEPD)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.8
		pH	7.3	5.1	5.1	5.1	5.1	
ジスロマック 点滴静注用500mg (ファイザー)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.3	
	pH	7.2	5.7	5.7	5.7	5.7		
主としてグラム 陽性・陰性菌、 リケッチア、グラ ミアに作用 するもの	ミノマイシン 点滴静注用100mg (ファイザー)	外観	淡黄色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.0
		pH	3.1	3.5	3.5	3.5	3.4	
主としてカビ に作用する もの	ファンガード点滴用75mg (アステラス)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色白濁の液体	淡黄色澄明の液体 と白色沈殿	変化なし	変化なし	98.8
		pH	5.5	4.8	4.8	4.8	4.8	
	ファンギゾン注射用50mg (BMS)	外観	黄色澄明の 液体	黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	淡黄色澄明の液体 と黄色沈殿	
		pH	7.2	5.0	5.0	5.0	5.0	
ブイフェンド200mg静注用 (ファイザー)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	98.8	
	pH	5.9	5.2	5.2	5.2	5.2		
抗結核剤	イスコチン注100mg (第一三共)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.4
		pH	7.1	5.9	5.9	5.9	5.8	
合成抗菌剤	ザイボックス注射液600mg (ファイザー)	外観	微黄色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.1
		pH	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	
抗ウイルス剤	ゾピラックス点滴静注用250 (GSK)	外観	無色澄明の 液体	微黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.2
		pH	10.5	6.7	6.7	6.7	6.7	
その他の 化学療法剤	ジフルカン静注液200mg (ファイザー)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.0
		pH	5.7	4.8	4.8	4.9	4.8	
	プロジフ静注液400 (ファイザー)	外観	無色澄明の 液体	微黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	99.4
		pH	8.9	7.2	7.2	7.3	7.2	
フロリードF注200mg (持田)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.5	
	pH	4.9	5.0	4.9	4.9	4.9		
血液製剤類	献血ヴェノグロブリンH5% 静注1g/20mL (日本血液製剤機構)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	101.5
		pH	4.2	4.5	4.5	4.5	4.5	
抗原虫剤	アネトロ点滴静注液500mg (ファイザー)	外観	無色澄明の 液体	淡黄色澄明の液体	変化なし	変化なし	変化なし	100.7
		pH	5.4	5.1	5.1	5.2	5.1	

※1：製造販売元は2018.04時点の保険薬辞典（じほう発行）に準拠した。

※2：2018.04時点で販売中止になっている。